



優駿会同窓会会報

(1) 令和4年度(2022年度)優駿会同窓会開催報告

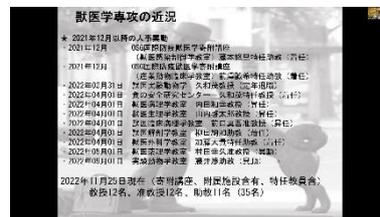
令和4年11月26日(土)、優駿会同窓会が Web 会議サービス「Zoom」を用いてオンラインにて開催された。本年度は、優駿会総会の後、ヤンソン賞受賞者1名を含む3名の演者による講演を企画した(事前参加登録者 37 名)。



優駿会総会

① 獣医学・応用動物科学専攻の現状報告

堀正敏獣医学専攻長および高橋伸一郎応用動物科学専攻長から、それぞれ獣医学専攻、応用動物科学専攻の現況について報告があった。



さらに、西村亮平附属動物医療センター長および桑原正貴附属牧場長から、それぞれ附属動物医療センター、附属牧場の現状について報告があった。

② 太田 稔 (日本中央競馬会)

『ようこそ馬臨床の世界へ』

戦前は馬が中心だった日本の獣医学だが、今や馬獣医師は100人に1人のマイナーな存在。臨床に関しては、大動物ゆえの限界もあるが、一方で、大動物だからこそ可能な技術もある。また、臨床以外にも、家畜としての伝染病対策や、アスリートとしてのドーピング対策など、多岐にわたる馬獣医師の仕事を、臨床医および研究者の立場からご紹介する。

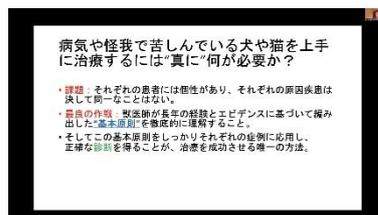


ヤンソン賞講演会

林 慶 (コーネル大学)

『終わりなき外科学修行の旅—苦闘の経験から考える獣医学教育の展望』

犬と猫の臨床技術、特に外科手術の腕の向上を目指して米国で修行を始めてから既に30年。いまだにわからないことばかりで、日夜苦闘を続けている。科学的なアプローチを師から学び、動物の健康の向上を目的とした研究論文をいくら書いても、この悩みは消えることなく獣医臨床の道はまさに終わりなき旅である。自身の失敗経験、後悔と反省に基づき、獣医療の将来展望と臨床獣医学の教育法の改革に関して、自分勝手な考えを紹介する。



(2) 令和4年度優駿会同窓会決算報告書について

堀正敏先生(獣医薬理)による会計監査が令和5年9月5日に行われた。

令和4年度優駿会同窓会決算報告書

収入	前年度繰越金	2,538,078
	同窓会名簿購入申込金	26,000
	同窓会参加費	0
	会費	519,100
	銀行利息	2
	合計	¥3,083,180
支出	印刷費	149,160
	通信費	115,543
	謝金・給与	69,750
	旅費	0
	事務費・懇親会等費	7,828
	雑費(振込手数料、封筒など)	0
	その他(会費返金)	30,000
	合計	¥372,281
収支決算	次年度繰越金	¥2,710,899
※切手残高		¥15,786

上記の通り決算いたしました。

令和5年9月5日

優駿会事務局 中川 貴之

中川 貴之

監査報告書

令和4年度 優駿会の会計監査の結果、上記の通り相違ないことを報告いたします。

令和5年9月5日

会計監査 堀 正敏

堀 正敏

＝編集後記＝

9月になっても焼け付くような日差しは変わらない今日この頃ですが、空は夏の空から秋の空に変わりつつあり、風も涼しさを増している農学部キャンパスです。5月頃はまだコロナ禍が抜けていない雰囲気がありましたが、この頃はようやくキャンパスらしい雰囲気が戻ってきているように感じます。同窓会の開催される11月には、コロナ前のような活気が戻っているキャンパスに皆様がいらしていただけることを願うばかりです。



今年は実に4年ぶりとなる対面での同窓会の開催になります。久しぶりのキャンパスや懐かしい研究室、構内など、ぜひこの機会に見て回るのも一つかもしれません。Zoomによるオンライン参加も並行してハイブリッド形式で開催する予定ですが、お時間やご都合の許す先生方はぜひ対面での同窓会、そしてその後のささやかではありますが懇親会も楽しんでいただけますと幸いです。

また今年度も、事務局の運営にあたっては前幹事・杉浦幸二先生に、広報関係では松脇貴志先生に、事務局の作業においては西村亮平先生をはじめ獣医外科学研究室の藤田直己先生、加藤大貴先生、大学院生、学部学生の皆様に、多大なご助力、ご支援をいただいております。この場を借りてお礼申し上げます。

皆様と同窓会でお会いできることを楽しみにしています。末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

中川 貴之(獣医外科)

